

妙見浄水場自家用電気工作物の保安全管理業務に関する特記仕様書

本特記仕様書は、電気事業法施行規則第 52 条第 2 項により、電気主任技術者を選任しない事業所として、自家用電気工作物の保安全管理に関する業務を専門技術者に委託することを定めるものである。

(対象電気工作物の概要)

第 1 条 対象電気工作物の概要は、次のとおりとする。

- (1) 事業場の名称 長岡市水道局 妙見浄水場
- (2) 事業場の所在地 新潟県長岡市妙見町 528 番 2
- (3) 需要設備
 - ア 受電電圧 6,600 ボルト
 - イ 設備容量 3,810 キロボルトアンペア
 - ウ 非常用予備発電装置
 - (ｱ) 発電機定格出力 750 キロボルトアンペア×2 台
 - (ｲ) 発電機定格電圧 6,600 ボルト
 - (ｳ) 原動機の種類 ガスタービン機関

(委託業務の内容)

第 2 条 受託者が実施する保安全管理業務は次によるものとする。

- (1) 受託者は、前条に掲げる自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する経済産業大臣への提出書類及び図面について、その作成及び手続きを委託者と協力して行うこと。
- (2) 受託者は、前条に掲げる自家用電気工作物の設置又は変更の工事を計画施工及び完成した場合において、竣工検査を行い、必要に応じそのとるべき措置について委託者に報告すること。
- (3) 受託者は、前条に掲げる自家用電気工作物の設置又は変更の工事について、工事期間中の点検を行い、必要に応じそのとるべき措置について委託者に報告すること。
- (4) 受託者は、前条に掲げる自家用電気工作物の工事、維持及び運用について、定期的な点検、測定及び試験を行い、その結果を委託者に報告すること。
また、経済産業省令で定める技術基準の規定に適合しない事項、又は適合しない恐れがあるときは、とるべき措置について委託者に報告すること。
委託者は、その記録を確認し、保安規程に定める期間保存すること。
- (5) 受託者は、電気事故が発生し、又は発生する恐れがある場合において現状の確認、送電停止、電気工作物の切離し等必要な措置を行うこと。
また、事故・故障の状況に応じて、臨時点検を行い、その原因が判明した場合には、同様の事故、故障の再発をさせないための対策について委託者に報告すること。なお、電気関係報告規則に基づく事故報告を行う必要がある場合は、電気事故報告の作成及び手続きを委託者と協力して行うこと。
- (6) 電気事業法第 107 条第 3 項に規定する立入検査の立会いを行うこと。

2 委託者は、前項の委託する保安管理業務のうち、次の(1)から(3)のいずれか該当する電気工作物については、点検、測定及び試験の全部又は一部を電気工事業者、電気機器製造業者等に依頼して行うものとする。

(1) 設備の特殊性のため、専門の知識及び技術を有する者でなければ点検を行うことが困難な次のいずれかに該当する自家用電気工作物

ア 消防法の規定に基づき、消防設備士免状の交付を受けている者等の点検を要する消防用設備等又は特殊消防用設備等

イ 機器の精度の観点から専門の知識及び技術を有する者による調整を要する機器

ウ 内部点検のための分解、組立に特殊な技術を要する機器

(2) 発電設備のうち電気設備以外の自家用電気工作物

(3) 第3条別表に掲げる年次点検のうち、次のいずれかに該当する自家用電気工作物

ア 高圧電気設備に係る絶縁抵抗測定、接地抵抗測定

イ 保護継電器の動作特性試験及びしゃ断器等との連動動作試験

ウ 避雷針の接地抵抗測定

(点検の頻度及び点検項目)

第3条 受託者が定期的に行う点検の頻度及び点検項目は、月次点検、年次点検及び臨時点検とし、別表に掲げる内容を基本とし、詳細は、保安規程によるものとする。

(1) 月次点検 毎月1回

(2) 年次点検 毎年1回

(3) 臨時点検 必要の都度

2 受託者は、日常巡視等において異常があった場合には、経済産業省令で定める技術基準の規定に適合しない事項又は適合しない恐れがないか、点検を行うものとする。

(保安業務担当者の設置)

第4条 受託者は、保安管理業務の実施にあたり、経済産業省告示第249号(平成15年7月1日)第1条の規定に適合するものを保安業務担当者として設置する。

2 保安業務担当者は、必要に応じ補助者を同行し、保安管理業務の実施を補助させることができるものとする。

3 保安業務責任者が病気その他やむを得ない事由によりその職務を執ることができないときは、他の保安業務担当者を代行者としてその任を実施させることができるものとする。

(協力及び義務)

第5条 委託者は、受託者が保安管理業務の実施にあたり、報告した事項又は協議決定した事項については、すみやかに必要な措置をとるものとする。

2 受託者は、保安管理業務を誠実に行うものとする。

(記録の保存)

第6条 受託者が実施し報告した保安管理業務の結果の記録等は、双方において必要な期間保存するものとする。

(外部委託承認の届出)

第7条 受託者は、保安全管理業務外部委託承認の届出の手続きを責任をもって行うこととする。

(その他)

第8条 この特記仕様書に定めのない事項は、委託者と受託者の協議によって定めるものとする。

【別 表】

<div>項 目</div> <div>対象設備等</div>	<div>月次点検</div> <div>(月 1 回)</div>	<div>年次点検</div> <div>(年 1 回)</div>
<div>〈引込設備〉</div> <div>区分開閉器、引込線、支持物、ケーブル等</div>	<div>〈外観点検〉</div> <div>電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無</div>	<div>左記の外観点検項目に加え、絶縁抵抗測定、接地抵抗測定、保護継電器の動作特性試験、保護継電器としゃ断器の連動動作試験</div>
<div>〈受電設備〉</div> <div>断路器、電力ヒューズ、しゃ断器、高圧負荷開閉器、変圧器、コンデンサ、リアクトル、避雷器、計器用変成器、母線等</div>	<div>電線と他物との離隔距離の適否</div> <div>機械器具、配線の取付状態及び過熱の有無</div> <div>接地線等の保安装置の取付状態</div>	
<div>〈受配電盤〉</div>	<div>〈測定項目〉</div>	
<div>〈接地工事〉</div> <div>接地線、保護管等</div>	<div>電圧、負荷電流測定</div>	
<div>〈構造物〉</div> <div>受電室建物、キュービクル式受変電設備の金属製外箱等</div>		
<div>〈非常用予備発電装置〉</div> <div>原動機、発電機、始動装置等</div>	<div>〈外観点検〉</div> <div>電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無</div> <div>電線と他物との離隔距離の適否</div> <div>機械器具、配線の取付状態及び過熱の有無</div> <div>接地線等の保安装置の取付状態</div> <div>自動始動・停止試験、運転中の発電電圧・周波数の異常の有無</div>	<div>左記の外観点検項目に加え、絶縁抵抗測定、接地抵抗測定、保護継電器の動作特性試験、保護継電器としゃ断器の連動動作試験</div>

<div>項 目</div> <div>対象設備等</div>	<div>月次点検</div> <div>(月 1 回)</div>	<div>年次点検</div> <div>(年 1 回)</div>
<div>〈蓄電池設備〉</div>	<div>〈外観点検〉</div> <div>電気工作物の異音、異臭、 損傷、汚損等の有無</div> <div>電線と他物との離隔距離 の適否</div> <div>機械器具、配線の取付状 態及び過熱の有無</div>	<div>左記の外観点検項目に加 え、蓄電池設備のセルの 電圧、電解液の比重、温 度測定</div>
<div>〈負荷設備〉</div> <div>配線、配線器具、低圧機 器等</div>	<div>〈外観点検〉</div> <div>電気工作物の異音、異臭、 損傷、汚損等の有無</div> <div>電線と他物との離隔距離 の適否</div> <div>機械器具、配線の取付状 態及び過熱の有無</div> <div>接地線等の保安装置の取 付状態</div>	<div>左記の外観点検項目に加 え、絶縁抵抗測定、接地 抵抗測定</div>

- ・ 月次点検とは、設備が運転中の状態において点検を実施するものである。
- ・ 年次点検とは、主として停電により設備を停止状態にして点検を実施するものである。
- ・ 臨時点検とは、電気事故その他異常の発生したときや、異常が発生する恐れがあると判断したときに点検を実施するものである。